

TRPU NEWS

富山県立大学ニュース

No. 130
| Summer | 2021



「富山グラウジーズ×SOGAWABASE×県大濱ゼミ」集合写真（「Close-Up県大」より）

p.2-3 Close-Up県大

富山県立大学が取り組む「地域協働」とは

…地域に出かけ、地域と共に学ぶ…

- p.4 キャンパストピックス
- p.4-6 インフォメーション
- p.6-7 新任教員紹介
- p.7 受賞情報
- p.8 サークル紹介・スケジュール



MAKE
TOYAMA
STYLE

BEYOND CORONA, WITH US

富山県立大学が取り組む「地域協働」とは

…地域に出かけ、地域と共に学ぶ…

本学では、建学理念の一つに「富山県の発展をめざした県民の大学」があり、地域との繋がりをとても大事にして、教育や研究に取り組んできました。平成25年から始まった大学と地域の連携強化を図る文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(Center Of Community事業=通称:COC事業)に採択されたことで、地域協働支援室が設置され、本学の地域協働の取組みは加速化していきます。この事業では、地域の課題に対して全学を挙げて取り組み、地域課題を解決できる学生の育成を図るなど、「地域協働型大学」の構築を目指すことを謳っています。少人数ゼミの授業の中で、学生が多様な地域関係者と直接対話や交流などを行い、地域産業の振興や超高齢化社会への対応など解決が困難な課題について、地域関係者と一緒に考えることを皮切りに、学生自らがその課題をとらえ、また、その課題の解決のためどう取り組めばよいかを学修することを通じて、主体的に課題解決する能力を持った人材の育成に取り組んできました。この5年間のCOC事業が終了した後も、継続して地域協働に取り組んでいます。

協働先は、県内の自治体のほか、多様な地域団体や民間企業などです。地域の困りごとを解決することをテーマとしています。例えば「地域の魅力の発信方法を再考して観光を活性化させる」「子どもたちが科学に関心を持つような学びの場を提供する」など。中山間地域の獣害対策を検討して電気柵設置を支援した例や、SDGsを広めるために市職員と協働し、市内の事業者のSDGsの取組みを冊子にまとめた例もあります。

毎年、ゼミや研究室、サークルなどで60前後の地域協働の取組みが実施されています。学生はその過程で、地域の様々な方々と関わり合い、社会性や規範性などを身につけることができます。取組みの成果をまとめ、協働先へ報告したり学内で発表したりすることで、プレゼンテーションなどのスキルを向上させることもでき、座学の講義では学びにくい多様な能力を得られる教育の機会となっています。

トピックゼミ

富山市西町商店街



富山グラウジーズ

【教養教育センター 演講師】

ここ数年にわたり、富山市西町商店街の活性化をテーマにした協働に取り組み、アンケート調査やSNSでの情報発信を実施してきました。今年度は新たな取組みとしてプロバスケットボールチーム「富山グラウジーズ」と協働し、選手がおすすめるメニューや商品を、選手と一緒に取材し、その内容をSNSで発信する活動を行いました。

令和2年夏に誕生した「SOGAWA BASE」のお店を舞台に、2選手(阿部友和選手、鉛谷由毅選手)の「押しメニュー」について、お店はもちろん、選手にもおすすめるポイントなどを取材し、記事をまとめ、Twitter、Instagram、Facebookの3つのSNSで情報を発信しました。単なるSNSへの投稿ですが、ブースター(バスケットチームを応援する人)を始めとする多くの方々に、地元の商店街の魅力が届くように、記事を推敲したり、映える写真を撮影したりし、授業の中で話し合いを重ねました。

授業の受講生からは「バスケの選手と触れ合えて良かった」「とても貴重な経験ができた」などの感想が寄せられたことに加え、さまざまな協働先の方々と共に、地域の商店街の活性化に繋がる取組みを自分たちが行えたことへの達成感も得られたとの声が聞こえてきました。



下記サイトでは、本学の地域協働の具体的なテーマや成果などが紹介されています。ぜひご覧ください。

<https://www.pu-toyama.ac.jp/coc/>



学生団体

地域
×
SDGs

【地域協働研究会 COCOS】

COCOS(ココス)は、地域協働を推進するために大学が設置した学生団体です。これまでに、県内の様々な地域で、自治体や企業、地域団体などと協働し、地域課題の解決に向けた活動に取り組んできました。

今年3月、射水市とアランマーレ女子ハンドボールチームと本学が連携し、SDGs 5「ジェンダー平等を実現しよう」を啓発する「オレンジキャンペーンin射水～がんばる女性を応援～」を実施しました。COCOSもこの一環として、射水市長や本学学長、選手のビデオメッセージをSNSで発信したほか、特設展示で参加型のメッセージボードを作成し、来場者への啓発や、参加者同士の交流に尽力しました。

また昨年度から、南砺市やなんと未来支援センターなどと協働して、SDGsの普及啓発を目的に、親しみやすい南砺を舞台にした教材「なんとSDGsボードゲーム」の制作を進めて



「オレンジキャンペーンin射水～がんばる女性を応援～」



「なんとSDGsボードゲーム」完成市長報告会

きました。6月には完成市長報告会を行い、メディアでも多く取り上げられました。南砺市ではこのゲームを市内各学校や公民館などの公共施設へ配布するほか、一般家庭への貸出を行い、広くSDGsの啓発に活用しています。

研究室

富山県
×
高齢者
×
eスポーツ

【鳥山研究室・岩本研究室(情報システム工学科)】

富山県と連携し、高齢者の通いの場への参加促進や介護予防に向けたeスポーツの可能性について研究を進めています。eスポーツイベントを手がけるZORGEと協働して、高岡市内の公民館で「通いの場を活用したeスポーツ体験会」を実施しました。鳥山研究室が独自開発したゲーム「窓ふきの達人」では上肢関節可動域チェックもできます。2カ所の公民館をオンラインで繋ぐことで離れた地域との交流もでき、大学生との多世代交流を含め、さらなる社会参加促進の契機となるように取り組んでいます。大学生は研究を通して、イベントの運営や高齢者との触れ合いなど多様な経験を積んでいます。



教養ゼミ

滑川市
×
特産品PR

【教養教育センター 清水准教授】

滑川市の魅力の特産品のPRを通して発信することを目的に、大学コンソーシアム富山の地域課題解決事業として、滑川市のふるさと納税サイトの記事リニューアルに取り組みました。返礼品の生産者の方々に取材をし、特徴を若者目線の言葉でまとめ、また商品の紹介写真も担当する学生が専用スタジオにてそれぞれ撮影しました。刷新されたサイトでは、閲覧数や滞在時間が増え、公開直後の2週間の納税額は前年同期比で100万円以上増加する結果となりました。各生産者をはじめとし、市職員などの関係者との関わり合いからの学びも多く得られ、学生の様々なスキル獲得に繋がる取り組みとなりました。



学内合同企業研究会

3月1日(月)～5日(金)に、オンラインで、学内合同企業研究会を開催しました。この企業研究会は、令和4年3月卒業・修了予定の学生が、企業の業種・職種等について研究し、企業の採用スケジュール等について企業の人事担当者から情報収集を行うもので、5日間で延べ840名の学生及び計238の企業が参加しました。

オンラインでの開催は初めてとなりますが、学生達は熱心に各企業の人事担当者の説明を聞き、質問していました。

令和2年度 学位記授与式

3月20日(土)、ラポールにおいて、令和2年度学位記授与式が行われました。式では、下山学長が「研究目標を達成し、課題解決能力を獲得した皆さんにとって、新たな仕事や研究も恐るに足らずです」と式辞。

また、新田知事が「高い志を持って、富山県や日本の未来を担う原動力となれることを願っています」と祝辞を述べられました。

式に併せ、各学科の成績優秀な学生1名にベストチューデント賞が贈られました。

- 工学部機械システム工学科 — 長岡 航汰
- 工学部知能ロボット工学科 — 坂木 翼
- 工学部電子・情報工学科 — 佐伯 真彬
- 工学部環境・社会基盤工学科 — 達 柊介
- 工学部生物工学科 — 塩野 啓太
- 工学部医薬品工学科 — 多田 有希



令和3年度 入学式

4月6日(火)、ラポールにおいて、令和3年度入学式が行われ、601名の新入生を迎えました。式では、下山学長が、「多様性を理解し、互いに友人として尊敬しあえるように成長して欲しい」と式辞。

また、新田知事が「夢や高い志、情熱をもってチャレンジし、学生生活を実り多いものとしてください」と祝辞を述べられました。

最後に工学部の川村慶さん、看護学部の清澤真唯さん、大学院の達村介さんが新入生を代表して誓詞を述べました。



医薬品工学科 小山教授が「とやま賞」を受賞しました

小山靖人教授(医薬品工学科)が、富山県ひとづくり財団の「第38回とやま賞」学術研究部門(理工分野)を受賞し、5月20日(木)に富山電気ビルディングにおいて贈呈式が行われました。

この賞は、置県百年を記念し昭和59年に創設されたもので、学術研究やスポーツなどの分野において顕著な業績を挙げ、将来の活躍が期待される個人・団体に贈られるものです。

今回受賞の対象となった研究業績は「ペプチドの交互共重合法の開発と生体材料の創製」です。2種のアミノ酸を交互に配列したポリペプチドを簡単に合成する新手法と、合成したペプチド交互共重合体を組み込んだ生体材料の開発についての最近の研究成果が高く評価されました。



Information 1

「公立大学法人 富山県立大学 安否確認システム (ANPIC)」

●安否確認システム (ANPIC) について

本学では「公立大学法人富山県立大学安否確認システム (ANPIC)」を導入しています。富山県で「震度6弱」以上の地震が発生したときは、あらかじめ学生の皆さんに登録していただいているメールアドレス等にANPICから安否確認メールが自動送信され、受信した学生は安否状況を報告することになっています。

上記以外の災害発生時等においては、発生した災害による影響を鑑み、必要に応じて大学の管理者が手動でメール配信を行います。

●安否検索

ANPICは、ご家族が、本学の学生の安否情報を検索して、確認をすることができます。

電話でのお問い合わせには、時間がかかる場合がありますので、ご家族の方は、できるだけ【ANPICログインサイト】のURL※にアクセスして、安否検索をご利用くださいますようお願いいたします。なお、安否情報は、平常時は非公開に設定しています。大規模災害時にご家族が学生及び教職員の安否を確認できるよう一時的に公開します。

※本学ホームページにリンクを掲載しています。





Information 2 博士の学位授与報告

令和2年度において、博士(工学)の学位を授与された方の氏名と所属専攻、論文題目は次のとおりです。

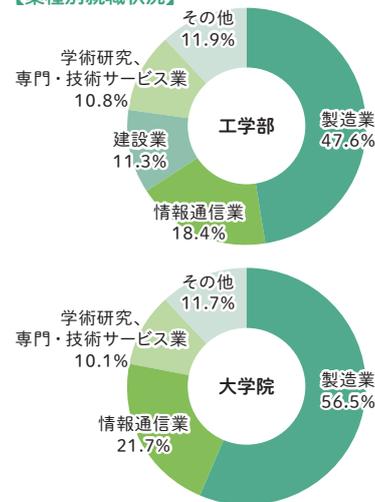
【課程博士】

学位申請者	所属専攻名	論文題目	授与日
アマミット ラジ シャルマ Amit Raj Sharma	生物工学専攻 (R2.3.31満期退学)	Screening of new bioactive compounds from marine bacteria associated with stony corals (イシサンゴ由来海洋細菌からの新規生理活性物質の探索)	R2.6.25
ニュイラート エム Nuylert Aem	生物工学専攻 (H29.3.31満期退学)	Occurrence and enzymology of hydroxynitrile lyases of cyanogenic plants and millipedes (シアン生成能を有する植物およびヤスデにおけるヒドロキシニトリルリアーゼの産生並びにそれらの酵素化学)	R2.9.29
延山 知弘	生物工学専攻	Design, Preparation and Evaluation of Bioactive Nanomaterials Aiming at Control of Physical Properties of Plasma Membrane (脂質二重膜の物理的状態の制御を目的とした、生物活性ナノ材料の設計・開発並びに評価)	R2.9.29
福田 亮介	生物工学専攻 (R2.3.31満期退学)	Fundamental and Applied Research on Therapeutic Nanocomposites of Lipoproteins and Polycyclic Aromatic Materials (リポタンパク質と多環芳香族材料からなる治療用ナノ複合体に関する基礎および応用研究)	R2.9.29
納所 泰華	機械システム工学専攻	自己修復機能を付与した開繊炭素繊維/エポキシ樹脂積層材料の研究	R3.3.20
松永 悟行	知能デザイン工学専攻	計算資源が限られた音声合成システムに用いる深層学習モデルの学習法に関する研究	R3.3.20
松浦 拓哉	環境工学専攻	水質と安定同位体の長期観測データを用いた地下水涵養線の不確実性に関する研究	R3.3.20
増山 優香	生物工学専攻 (H30.3.31満期退学)	薬物代謝酵素群発現酵母株を用いた医薬品及び食品成分代謝物調製技術の開発	R3.3.20
李 丹丹	生物工学専攻	Exploration of new bioactive compounds produced by bacteria in pathogenic lineages (病原性系統の分類群に属する細菌からの新規生物活性物質の探索)	R3.3.20
高橋 沙和子	生物工学専攻	バクテリア細胞の巨大化方法の確立と巨大細胞へのマイクロインジェクションに関する研究	R3.3.20
寺寄 桃香	生物工学専攻	日本酒造りに関するバクテリアの多様性および生態に関する研究	R3.3.20

Information 3 令和2年度卒業・修了生進路状況 (令和3年3月31日現在)

	卒業・修了者数	就職者数		進学者数	
			うち県内就職		うち本学大学院
工学部	336 (77)	212 (54)	101 (34)	119 (23)	110 (18)
機械システム工学科	77 (2)	42 (1)	18 (1)	35 (1)	33 (0)
知能ロボット工学科	58 (9)	34 (7)	14 (2)	20 (2)	18 (0)
電子・情報工学科	79 (10)	50 (8)	18 (5)	28 (2)	28 (2)
環境・社会基盤工学科	54 (12)	43 (10)	17 (4)	11 (2)	9 (2)
生物工学科	36 (26)	28 (21)	22 (17)	8 (5)	7 (4)
医薬品工学科	32 (18)	15 (7)	12 (5)	17 (11)	15 (10)
大学院・博士前期課程	71 (22)	69 (21)	28 (10)	2 (1)	2 (1)
機械システム工学専攻	14 (0)	13 (0)	6 (0)	1 (0)	1 (0)
知能デザイン工学専攻	15 (3)	14 (2)	4 (1)	1 (1)	1 (1)
情報システム工学専攻	15 (2)	15 (2)	3 (0)	0 (0)	0 (0)
環境工学専攻	7 (4)	7 (4)	3 (2)	0 (0)	0 (0)
生物工学専攻	20 (13)	20 (13)	12 (7)	0 (0)	0 (0)

【業種別就職状況】



Information 4 対面型オープンキャンパス2021

高校生や保護者※の皆様などにキャンパスを開放し、本学への関心・理解を深め、進路選択の一助としていただくことを目的に、対面でのオープンキャンパスを開催します。 ※看護学部は参加対象は高校生および教員のみ。

- 日時：7月31日(土)
 - [工学部] 9:00～(受付8:30～)
 - [看護学部] 9:30～(受付9:00～)
- 会場：富山県立大学
 - [工学部] 射水キャンパス
 - [看護学部] 富山キャンパス

工学部 高校生向けコース	工学部 保護者・教員向けコース
コース(Ⅰ)～(Ⅵ) (Ⅰ) 機械システム工学科 (Ⅱ) 知能ロボット工学科 (Ⅲ) 電気電子工学科 (Ⅳ) 情報システム工学科 (Ⅴ) 環境・社会基盤工学科 (Ⅵ) 生物工学科 医薬品工学科 学部・学科紹介、学生発表、 入試概要説明、模擬講義、研究室見学等	学部紹介、キャリア支援紹介、 入試概要説明、学生発表、 学内施設見学等
看護学部	
学部・学科紹介、学生発表、 入試概要説明、模擬講義、 学内施設見学等	

Information 5 富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭2021を開催します!

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年どおりの規模でのダ・ヴィンチ祭は開催できませんが、感染症対策を施したうえでこのこども科学製作教室の開催及び特設HP上で本学教員・学生による動画配信を実施します。科学に関する様々な発見ができるかも!

※新型コロナウイルス感染症の状況次第では、こども科学製作教室の実施を取りやめる可能性があります。詳細は、特設HPをご覧ください。

特設HP上での動画配信 16企画

●公開期間 7月1日(木)～8月31日(火)

こども科学製作教室 9企画 ※全て事前申込が必要

- 日時 8月7日(土) 12:30～16:00 企画により開始時間が異なります。
- 場所 富山県立大学射水キャンパス 中央棟 (受付1階)
- 参加料 無料
- 問合せ先 富山県立大学ダ・ヴィンチ祭実行委員会事務局
ホームページ <https://www.davinci-fes.net/>
TEL 0766-56-7500 (内1234) FAX 0766-56-6182 e-mail:davinci@pu-toyama.ac.jp

Information 6 キャリア支援 (就職・進学)セミナー

本学では、就職活動を控える学生及び保護者の皆様を対象に、最新の就職状況や就職活動のポイント等をご紹介しますため、次のとおり、キャリア支援セミナーをオンラインで開催します。多数のご参加をお待ちしております。

※詳細はチラシ及びHP等でお知らせいたします。(7月下旬を予定)

- 開催日 8月21日(土) 14:00～16:00
- 参加料 無料
- 問合せ先 事務局教務課学生係
〒939-0398 射水市黒河5180
TEL 0766-56-7500 (内線1258)
FAX 0766-56-6182

人事消息

就任	(R3.4.1)	学生部長	大島 徹
		入試・学生募集部長	高木 昇
		附属図書館長	加藤 康夫
		附属図書館富山館長	森子 嘉美
昇任	(R3.4.1)	工学部教授	平野 嘉孝
		工学部教授	川端 繁樹
		工学部教授	古谷 元
		工学部教授	星川 圭介
		工学部教授	小山 靖人
		工学部准教授	高屋 智久
工学部 新規採用	(R3.4.1)	看護学部講師	川口 寛介
		工学部教授	金井 保
		工学部准教授	石田 裕之
		工学部准教授	岡本 大
		工学部准教授	久加 朋子
		工学部講師	中澤 暦
		工学部助教	納所 泰華
		工学部助教	木伏 理沙子
		工学部助教	崔 高超
		工学部助教	山口 拓也
看護学部 新規採用	(R3.4.1)	工学部助教	宇部 尚樹
		看護学部講師	清水 暢子
		看護学部助教	村上 章
		看護学部助教	村上 利矢子
退職	(R3.3.31)	看護学部助教	枝川 奈都美
		工学部教授	石森 勇次
		工学部教授	平原 達也
		工学部教授	高橋 剛一郎
		工学部教授	伊藤 伸哉
		工学部教授	榊 利之
		工学部准教授	横道 治男
		工学部准教授	西田 泰伸
		工学部准教授	手計 太一
		看護学部講師	渋谷 昭子
(R3.5.31)	看護学部准教授	堀井 聡子	

新任教員紹介

工学部



生物工学科/教授 金井 保

生物工学科応用生物プロセス学講座に着任致しました。専門は微生物や酵素を用いたバイオプロセスの開発です。教育と研究を通じて富山県の発展や課題の解決に貢献していく所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



教養教育センター/准教授 石田 裕之

本年度より教養教育センターの准教授として着任いたしました。専門は、自然を統べる物理法則の最も根本となる素粒子理論です。私は特に、宇宙開闢の謎とニュートリノの関連について興味があり研究を続けています。



電気電子工学科/准教授 岡本 大

4月に電気電子工学科に着任いたしました。これまでパワー半導体デバイスの物理を研究してきました。教育及び研究成果の地域還元により、富山県の発展に貢献できるように尽力します。よろしくお願いたします。



環境・社会基盤工学科/准教授 久加 朋子

准教授として着任しました。河川の土砂移動に伴う流路変動や被災特性、治水と環境とのバランスなどに関する研究に取り組んでいます。これから富山を起点として研究を行いますので、どうぞよろしくお願いたします。



環境・社会基盤工学科/講師 中澤 暦

専門は環境科学、環境リスク学です。大気汚染物質の長距離越境輸送やその森林生態系に与える影響、小規模金採掘活動による水銀汚染とヒトへの健康影響等、研究してきました。よろしくお願いたします。

受賞情報

教員の受賞 受賞日順、学科名、職位は受賞時のもの

佐伯 和子 教授 / 看護学部看護学科

日本公衆衛生看護学会学術奨励賞(優秀論文部門)

自治体で働く事務職と保健師がとらえる保健師の仕事に関する認識 日本公衆衛生看護学会誌 8巻2号 80-88 (R1.8) 掲載(共著論文での受賞) **R3.1.9受賞**

佐伯 和子 教授 / 看護学部看護学科

第9回日本公衆衛生看護学会学術集会最優秀オンライン発表賞

保健師の事業実装力のセグメント化に基づく教育方策の検討～実装研究統合枠組み日本版を用いた全国調査結果より～(共著論文での受賞) **R3.1.24受賞**

寺井 孝弘 講師 / 看護学部看護学科

日本新生児看護学会の学術優秀賞

NICUに入院経験のある児の父親が認識する夫婦の関係性と愛着(共著論文での受賞) **R3.2.10受賞**

岩井 学 教授 / 工学部知能ロボット工学科

第13回岩木トライボコーティングネットワークアワード(岩木賞)

導電性ダイヤモンドを利用した精密加工工具の開発 **R3.2.26受賞**

川口 寛介 助教 / 看護学部看護学科

令和2年度山形大学医学会学術賞 銅賞

前立腺全摘除術後のGSEとQOLとの関連 Effect of general self-efficacy on promoting health-related quality of life during recovery from radical prostatectomy: a 1-year prospective study **R3.3.3受賞**

遠藤 洋史 准教授 / 工学部機械システム工学科

高分子学会広報委員会パブリシティ賞

Auxetic流路構造を有する高柔軟性エラストマーフィルムの設計 **R3.5.11受賞**

小山 靖人 教授 / 工学部医薬品工学科

第38回とやま賞学術研究部門(理工分野)

ペプチドの交互共重合合法の開発と生体材料の創製 **R3.5.20受賞**

工藤 里香 准教授 / 看護学部看護学科

「性と健康を考える女性専門家の会」堀口雅子賞

昨年母性看護学講座で開催したイベントも含めた今までの活動に対する受賞 **R3.5.31受賞**

小林 絵里子 講師 / 看護学部看護学科

2020年翻訳ボランティア貢献度トップ5

コクランレビューにおける翻訳活動への貢献に対する受賞 **R3.6.19受賞**

学生の受賞 学科名、学年、指導教員の職位は受賞時のもの

竹内 章裕 工学部電子・情報工学科4年

第1回スマシテラボ・ハッカソン 最優秀賞

指導教員: 准教授 中村 正樹 **R3.1受賞**

王 壮鎔 博士前期課程知能デザイン工学専攻1年

孫 億琴 博士前期課程知能デザイン工学専攻2年

NDTFMA2021 優秀発表賞

指導教員: 准教授 唐木 智明 **R3.2受賞**

長岡 航汰 工学部機械システム工学科4年

内藤 匠海 博士前期課程機械システム工学専攻1年

森崎 稜磨 博士前期課程機械システム工学専攻1年

日本機械学会 交通物流部門賞・優秀賞

指導教員: 准教授 寺島 修 **R3.3受賞**

内藤 匠海 博士前期課程機械システム工学専攻1年

公益財団法人 マザック財団 優秀論文表彰

指導教員: 准教授 寺島 修 **R3.3受賞**

内藤 匠海 博士前期課程機械システム工学専攻1年

日本機械学会 若手優秀講演フェロー賞

指導教員: 准教授 寺島 修 **R3.3受賞**

長岡 航汰 機械システム工学科4年

日本機械学会 北陸信越支部賞 学生賞

指導教員: 准教授 寺島 修 **R3.3受賞**

柿木 里菜 工学部環境・社会基盤工学科4年

日本水環境学会 年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)最優秀賞

指導教員: 准教授 黒田 啓介 **R3.3受賞**

京角 和希 工学部環境・社会基盤工学科4年

令和2年度土木学会中部支部優秀講演者賞

指導教員: 准教授 呉 修一 **R3.3受賞**

有賀 正和 博士前期課程知能ロボット工学専攻1年

精密工学会 第28回学生会員卒業研究発表講演会 優秀講演賞

指導教員: 准教授 伊東 聡 **R3.4受賞**

田代 将英 研究生(工学部機械システム工学科)

高分子学会広報委員会パブリシティ賞

指導教員: 准教授 遠藤 洋史 **R3.5受賞**

工学部



機械システム工学科/助教 **納所 泰華**

3月に本学で博士号を取得し、4月より機械システム工学科の助教として着任しました。第二の故郷とも言える富山県で、学生さんの成長や地域の発展に貢献できるように努めて参りますので、よろしくお願いたします。



機械システム工学科/助教 **木伏 理沙子**

4月より機械システム工学科の助教として着任いたしました。本学で博士(工学)を取得後、山口東京理科大学に勤務しておりました。地域貢献できるよう尽くして参りますので、ご指導の程何卒よろしくお願致します。



情報システム工学科/助教 **崔 高超**

本年度より工学部情報システム工学科に着任いたしました。これまで主に生体信号処理を研究してきました。浅学の身ですが大学のもと研究および教育に一層精励いたす所存でございます。どうぞよろしくお願いたします。



生物工学科/助教 **山口 拓也**

本年度より生物工学科酵素化学工学講座に着任いたしました。これまで主に微生物・植物・動物から新規酵素の探索を行ってきました。本学教員として教育と研究に尽力していきます。どうぞよろしくお願いたします。



生物工学科/助教 **宇部 尚樹**

生物工学科植物機能工学講座に着任しました。これまで、ムギ類を中心に植物がもつ二次代謝産物に関する研究を行ってきました。教育・研究を通じて、植物が持つ物質の面白さについて伝えていければと思います。

看護学部



看護学科/講師 **清水 暢子**

持続可能な認知症予防対策をコロナ禍のアジア諸国へ発信することを急務とし、タイ研究者と共同研究中です。さらに富山の魅力を国内外に発信すべく、実践的教育・研究を目指しています。よろしくお願いたします。



看護学科/助教 **村上 章**

都内の大学病院で5年間、認知症看護や高齢者の急性期看護に携わって参りました。老年看護学を専門とする教員として、教育・研究・看護実践に尽力し、出身地である富山県に貢献できるように努めて参ります。



看護学科/助教 **村上 利矢子**

本年度より看護学科母性看護学講座に着任致しました。病院で助産師として働く中で初めての育児に戸惑うママ達に研究・教育を通してもっと役立つと願って、教員になりました。どうぞよろしくお願いたします。



看護学科/助教 **枝川 奈都美**

家で過ごしたいという思いを尊重し、住み慣れた街で多くの人が長く安心して在宅療養できるように尽力いたします。教育・研究を通して医療・福祉の発展に貢献したいと思っています。よろしくお願いたします。

Schedule スケジュール【令和3年度】

August
8月

- 射水キャンパス
- 2日(月) 高校生向け科学技術体験講座
 - 7日(日) ダ・ヴィンチ祭
 - 7月26日(月)～8月13日(金) 授業又は試験又は補講
 - 23日(月)～9月10日(金) 集中講義
 - 17日(水)、18日(木) 工学研究科入学者選抜
 - 21日(日) キャリア支援(就職・進学)セミナー

- 富山キャンパス
- 2日(月)～13日(金) 授業又は試験又は補講

September
9月

- 中旬～11月中旬 北陸三県大学学生交歓芸術祭(未定)
- 若手エンジニアステップアップセミナー
9/1(水)～11/17(水) 機械系コース

- 富山キャンパス
- 27日(月)～30日(木) 集中講義(看護ケアとユマニチュードI・II・III)

October
10月

- 1日(金) 後期授業開始
- 9日(土)、16日(土)、30日(日) 秋季公開講座(担当:生物工学科)
- 23日(土)、24日(日) 大学祭(未定)
- 若手エンジニアステップアップセミナー
10/8(金) 環境・社会基盤工学系コース
10/15(金)～11/19(金) 生物・医薬品工学系コース
10/19(水)～11/30(水) 電気電子工学系コース
- 先端技術リカレント教育セミナー
10/1(金)～11/5(金) 知能ロボット工学コース
10/8(金)～11/12(金) 教養教育コース
10/13(水) バイオ人材育成トレーニングコース
- DX導入支援セミナー(開催日未定、7月中に決定する予定)

- 射水キャンパス
- 7日(水) 第2回進路ガイダンス
 - 21日(水) 第3回進路ガイダンス

- 富山キャンパス
- 25日(月)～11月19日(金) 基礎看護学実習II
 - 4日(月)～2月18日(金) 成人看護学実習I・成人看護学実習II
 - 4日(月)～12月17日(金) 老年看護学実習II、母性看護学実習

November
11月

- 秋季公開講座(開催日未定、7月頃に決定する予定)
- 26日(金) 学校推薦型選抜
- 先端技術リカレント教育セミナー
11/13(土) 看護学コース

- 射水キャンパス
- 環境講演会(開催日未定)
 - 11日(水) SPI対策講習

- 富山キャンパス
- 24日(水)～12月16日(木) 基礎看護学実習I(火、水、木曜日実施)
 - 15日(月)～2月18日(金) 精神看護学実習、在宅看護学実習、小児看護学実習II

※令和3年7月1日現在。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今後予定が変更になる可能性があります。最新の情報は大学HPをご覧ください。



空手道部



押忍、こんにちは! 富山県立大学正道会館空手道部です! 空手部では体を鍛え、技を磨き、強くなることを目的として活動しています。稽古では技の土台となる基本稽古や型に加え、技を実際に試したりするミッド打ちや、実際の空手の試合を想定した組手などを行っています。また、それぞれの部員が大会や昇級審査など目標を持って努力しています。

私たちは大谷講堂で毎週金曜日夜20:00～22:00に稽古をしています。また、希望者はこの空手部が所属する正道会館に入ることにより質の高い稽古に参加でき、富山大学の空手部とも交流することができます。そのため本格的に空手をやることも、週一で楽しむこともできるようになっています。

「格闘技をやってみたいな・・・」「空手ってどんな感じなんだろ・・・」と思った方は、ツイッターでDMを受け付けています! 見学、体験も勿論大歓迎です!

(Twitterアカウント:@TPU_karatedoubu)
(機械システム工学科・2年 尾崎 陸)

WEBアンケート実施中!

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で、
本学オリジナルグッズ(文房具等)を進呈いたします。

ご回答はコチラ▶

<https://www.pu-toyama.ac.jp/questionnaire128/>



編集後記

COVID-19のワクチン接種が始まり、短期間のうちに接種体制が整えられている。本記事の執筆時点(6月23日)で、全国民の18.3%が少なくとも1回目のワクチン接種を終了しているようだ。年内にも希望者のすべてにワクチン接種が実施される可能性も見えてきたように感じる。ここで昨年度の県大ニュースを顧みると、夏号ではウィルスの蔓延で教員や学生が出校不可能な状況になったことに対して、早期に遠隔講義の実施体制を構築した本学の動きを特

集ページで紹介していた。その後の冬号、春号でも「コロナ」というキーワードやマスク姿の写真が多く載せられており、本学が昨年度ウィルスに翻弄されながらも、徐々に対面授業を開始するとともに様々な活動を積極的に実施してきた姿が残されている。しかしこれらの活動も、しっかりとした感染防止体制下でのものであり、教員や学生の大きな努力の下ではじめてなしたものであり、このような制約が徐々に

減っていくことを期待せずにはいられない。さて、本号の特集は本学が取り組む「地域協働」に関わる取組みについてである。これも本学の特徴とも呼べる取組みの一つであり、感染防止体制下において進められた各種ゼミや学生団体、研究室レベルでの取組みなど幅広い事例を紹介している。昨年度より継続する制限下で、マスクで積極的に頑張る教員や学生の姿を是非ご覧いただきたい。

(広報・情報委員長 鳥山 朋二)



この用紙は資源保護のため
インキは植物油インキを
使用しています。